

□ 論文・著書

著者名	論文名	雑誌・著書
Yamamoto N, Yanagibayashi S, Yoshida R, Ogi H, Takikawa M, Nishijima A, Maruyama E	2-Octyl-Cyanoacrylate Skin Adhesive Used as a Splinting Material in Auricular Surgery	Modern Plastic Surgery, 2016,6,21-26
Nishijima N, Yamamoto N, Yanagibayashi S, Yoshida R, Takikawa M, Kouno R, Goshou M	The Effect of Smoking on Necrosis Rate in Digital Replantation and Revascularization with Prostaglandin E Therapy : A Retrospective Study	Plastic and Reconstructive Surgery, 2016 138, 848-853
瀧川 恵美、山本 直人	PRPによる育毛治療	形成外科 第59巻 第9号 2016
柳林 聡、阿部加代子、早坂 李枝、吉田 龍一、瀧川 恵美 山本 直人	頸神経から発生した神経鞘腫の2例	SKIN SURGERY Vol.25 No.3 2016
吉田 龍一、山本 直人、瀧川 恵美、柳林 聡、清澤 智晴	臍胸関連リンパ腫の1例	日本形成外科学会誌 Vol.36 No.4 2016
山本 直人、柳林 聡、吉田 龍一、早坂 李枝、西嶋 暁生 丸山 英里、瀧川 恵美	生着因子の分析でみえた切断指ホットラインの運用と生着率向上への課題	日本形成外科学会誌 Vol.36 2016
早坂 李枝、柳林 聡、吉田 龍一、西嶋 暁生、丸山 英里 瀧川 恵美、山本 直人	静脈再建できなかった指末節部切断再接合の瀉血法の比較検討	日本手外科学会誌Vol32 2016.
山本 直人	ステートメント53 真皮縫合はサージカルサイトインфекションの発生率を下げる	創傷治癒 コンセンサスドキュメント —手術手技から周術期管理まで— 日本創傷治癒学会編、2016年、全日本病院出版 会128-129項
山本 直人	ステートメント54 消化管術後の腹壁surgical site infection 発生率は真皮縫合よりステープラー閉鎖のほうが高い	創傷治癒 コンセンサスドキュメント —手術手技から周術期管理まで— 日本創傷治癒学会編、2016年、全日本病院出版 会130-131項
山本 直人	ステートメント85 皮膚欠損を伴わない通常の縫合創に対しても、創傷被服材の使用が推奨される	創傷治癒 コンセンサスドキュメント —手術手技から周術期管理まで— 日本創傷治癒学会編、2016年、全日本病院出版 会200-201項
山本 直人	形成外科における生体接着剤使用時の発生トラブルと材料の問題点	(株)技術情報協会 発刊書籍 第7章 第5節 「手術用シーラント材・癒着防止剤の利便性向上を 目指した製品開発」 2016年